

The 39th

Passenger Cars & Motorcycles

TOKYO MOTOR SHOW 2005



News

vol.

11

平成17年10月30日

第39回東京モーターショー2005

Passenger Cars & Motorcycles
乗用車・二輪車

"Driving Tomorrow!" from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。

スモールカーの「未来系」を描く



ダイハツ工業のブースを訪れて誰もが驚くのはその充実度だ。なにしろ参考出品車が9車種13台（うちワールドプレミア4、ジャパンプレミア4車種）と市販車の4台（入れ替え分を含めると8台）を大きく上回る意欲的な出品内容だからである。しかも「ワンダフル スモール 未来系」の統一テーマのもと、「FUN」「ECO」「LIFE」といった個別テーマへの対応車と、複数の個別テーマ融合型の提案車に分けた構成内容となっていて、ユーザーにとってもダイハツの“志”がハッキリと伝わってくる。

まずECO対応の3車種。中でもUltra Fuel Economyとしての「UFE-III」（ワールドプレミア、以下WP）は01年、03年東京モーターショーに出品した「UFE」の第3世代モデルで、リッター当たり72km（10・15モード走行、社内測定値、以下同じ）という軽サイズでは世界ナンバーワンの超低燃費を追求するハイブリッド車。加えて、世界最高水準をゆくCd値0.168の空力特性を発揮。3シーター・パッケージのボディスタイル

は横から見ると「まるでリニア・モーターカー」、前からだと「ホーバークラフト」、後ろからは「スター・ウォーズのダースベイダーみたい」といった感想がそれぞれ来場者から聞かれた。

燃料電池ハイブリッド車への挑戦を示したのが「Tanto FCHV」（ジャパンプレミア、以下JP）。「タント」をベースに、水素タンクの容量を増やして1回分の充填走行距離を向上。大人4人がゆったり乗れる。

注目度が高いのはテーマ融合型の「FUN&ECO」として提示した「HVS」だ。走行性能と環境性能を高次元で融合させたハイブリッド・オープンスポーツ。フロントには高出力エンジンに2モーターのハイブリッド駆動ユニットを組み合わせ、リッターカーをものぐりリッター当たり35kmの超低燃費を達成。リヤにも左右駆動力制御機構を備える電動モーターを組み込み、1.5リッター車でありながら2リッター並みのスポーティな走りを実現している。

ハイブリッド・オープンスポーツ、超低燃費車など出展



軽自動車「世界一」の超低燃費を誇る「UFE-III」



ハーモニーインテリアも楽しい市販予定の「ESSE」



セミオープンスモールビークルの「COSTA」

FUN対応車——風と戯れる楽しさと開放感を提案したのはセミオープン・スモールビークルの「COSTA」(WP)。カジュアルサンダルをテーマに、ドアレスのセミオープンの構造を基本として組み立てた玩具のような外形ボディがとてもユニーク。室内はメッシュ表皮のハンモックシート、ウッドデッキフロア採用のオールウェザーインテリア。あらゆる路面で優れた走破性を発揮するフルタイム4WDシステムを採用し、ロードクリアランスも190mmの余裕の高さ。エンジンにはTOPAZ直列3気筒・12バルブDOHCガソリンターボを搭載している。

市販予定の「Be▶go」(JP)は4mに満たない全長の持ち主。1.5リッターながら、2リッタークラスのSUVをしのぐ広い室内と、センターデフロック付フルタイム4WDを搭載した、新ジャンルのコンパクトSUW(スポーツ ユーティリティ ワゴン)と言える存在だ。5人乗りの快適な空間は、フル乗車時でも380リッターの荷室容量を確保。後席をハネ上げれば、26インチMTBだって積める。

LIFE対応車——ブース前の大きな架台には4台のカラフルな「ESSE」(WP、市販予定)が展示。軽自動車の「本質」(Eco・Simple & Smart・Easy)を意味するESSEは「暮らしに幸せな気分を添える」カジュアルミニ。自然のエッセンスをそのまま取り入れた「アコースティックカラー」のボディ色、ボディと内装色を調和させた「ハーモニーインテリア」を採



走行性能と環境性能を融合させた「HVS」



SUW(スポーツ ユーティリティ ワゴン)と言える大空間を実現した「Be▶go」



「SK-Tourer」



「Tanto FCHV」

用。ワールドプレミアで新開発の660cc直列3気筒ガソリンエンジン「TOPAZ KF」を搭載し、平成17年基準排出ガス75%低減レベルもクリアしている。

見落として欲しくないのは左ステージにあるワールドプレミアの「SK-Tourer」(Soh<爽>Kai<快>ツアラー)。低く長いエアロシルエットの外形デザインと乗員を低く座らせ、ラウンド形状で包み込むロー&サラウンドインテリアが異彩を放つ。

“スモールカーでロングドライブを愉しむ”ニュープレジャーがうたい文句。走りの醍醐味(ハイパワー)と低燃費を両立させた高性能660cc直列3気筒ターボエンジンに加え、スムーズかつスポーティな変速特性を備えるティップシフト付CVTを搭載しての世界初披露だ。

グリーンフィンダコラム



具体的なスモールカーの
近未来像にダイハツの志を。

ダイハツ工業
箕浦 輝幸 社長

今回の東京モーターショーでは、引き続き「ワンダフル・スモール・未来系」を統一テーマに掲げ、「FUN,ECO,LIFE」それぞれへの取り組みを示すとともに、スモールカーの近未来像を提案する。

具体的には、スポーツマインドとエコを融合させた、ハイブリッド・オープンスポーツ「HVS」、極限の低燃費を追求するテクノスモール第3世代「UFE-III」、シンプルでおしゃれなカジュアルミニ「ESSE」などの参考出品車を展示するほか、各種先進技術を出展している。これらのクルマ、技術展示を通じて、ダイハツの志を、どうぞ受け止めてください。

フィアット “イタリアの個性”を日本でプレビューした「Panda ALESSI」



現行車よりワンサイズアップした「Grande Punto」



レーシングカー
「Grande Punto
Rally ABARTH」



「Panda ALESSI」。丸目のホイールキャップと黒・白
2トーンカラーの展示車は、“パンダ”のそっくりさん。

フィアットブースは、日本市場投入プレビューの「Panda ALESSI」（ワールドプレミア）に「Grande Punto」（ジャパンプレミア）の2モデルを展示。

「Panda ALESSI」はイタリアの生活雑貨メーカー、アレッシィとフィアットによるコラボレーションバージョン車で、ボディサイズやパワーユニットは現行 Panda シリーズと同様だが、シートのカラーリングやホイールキャップなどにアレッシィデザインが生きている。日本発売は来春の見込み。

「Grande Punto」は、現行 Punto にくらべ5ドア、3ドア車ともワンサイズアップ。美しい古典的なデザインが欧州市場ですでに人気を博しているが、日本には来夏頃、5ドア右ハンドルのセミAT（1.4リッターエンジン搭載）仕様車から登場の予定。隣にラリー仕様の「Grande Punto Rally ABARTH」も参考出品されている。

アルファロメオ 来年の日本デビューを待つジウジアーロ作品2モデル「Alfa 159」「Alfa Brera」



Alfa Romeo



来春に日本発売予定の2+2クーペ「Alfa Brera」



「Alfa GT」



ジウジアーロデザインの「Alfa 159」は「156」の後継モデル

「Alfa 159」は、日本にアルファロメオ人気を呼び込んだジウジアーロデザインの「156」の後継モデル。ボディサイズがひと回り大きくなり、ホイールベースも105mm長くなって後部席のゆとりが広がった。サスペンションは前ダブルウィッシュボーン、後がマルチリンクに全面刷新。

日本では来年1月にV6、6速MTの4WD「3.2 JTS V6 24V Q4」、次いで2月に直4、FF仕様「2.2 JTS」の順にデビューする。

同じく来春に日本登場予定なのが2+2クーペ「Alfa Brera」。

昨年のジュネーブショーで市販バージョンが公開された「Brera」だが、「159」と共に日本では初のお目見えだ。ショート&ワイドなボディスタイルと低い運転座席など、ジウジアーロ作品であることがひと目でわかる。

アルファロメオはこの他スポーツモデルの「147」、「GT」を展示している。

マセラッティ ゴージャスイメージが1段と向上、「クアトロポルテ エグゼクティブGT」



「スポーツGT」

高級、ゴージャスなブランドイメージをさらに印象付けるようなセダン「クアトロポルテ エグゼクティブGT」が展示の中心。他に同車のスポーティーなタイプ車「スポーツGT」、レーシングマシンのロード走行モデル「MC12」（6リッター V12 エンジン搭載）などが来場者の目を引いている。



「クアトロポルテ エグゼクティブGT」



「MC12」

フェラーリ

スポーツカーファンの関心はオープンモデル「F430スパイダー」



今回ショーでの関心の的は4.3リッターV8エンジンを搭載した「F430」のオープンモデル「F430スパイダー」だ。最高速度310km/hなど性能面は「F430」と同様だが、フードを格納してもミッドシップレイアウトのエンジンがガラスカバーを通して見えるなど、スポーツカーファンならドッキドキのエクステリアデザイン。ブースには2+2シートのフェラーリ「612スカリエッティ」も出品されている。

「トラフィック戦隊アンゼンジャーショー」開催中

3年目の「アンゼンジャー」に何が起こったのか???



土日・祝祭日のファミリー向けイベントとして西休憩ゾーンにあるフェスティバルパークで行われている「トラフィック戦隊アンゼンジャーショー」が子供たちに人気を呼んでいる。交通安全の

ルールやマナーを楽しく学んでもらおうと、第37回のショーから実施されている。今回で3年目の「公演」となるため、子供たちの間でも「灯せ!正義の青信号～」で始まるナレーションはすっかりお馴染み。

この「トラフィック戦隊アンゼンジャーショー」は、安野全次郎刑事が変身する正義のサイボーグ「大安全マン」と、信号3人娘「シグナ・レイディ」、さらに、微妙な天才科学者ドクター・ヨイデガンスからなる千葉県警幕張署交通安全対策チームで、「交通事故ゼロ」を目指すコントを披露。ところが、今回のストーリーは交通安全のお手本となるべき「シグナ・レイディ」が飲酒運転と暴走行為などの交通違反で千葉県警に逮捕されてしまった。安野刑事は身元引受け人となり、千葉県警へ。「アンゼンジャー」に一体何が起きているのか。この続きは、フェスティバルパークでどうぞお楽しみを……。

千葉県警 コーナー 白バイ、パトカー前で制服姿のちびっ子たちがハイ!ポーズ

西休憩ゾーンのフェスティバルパークに設けられた千葉県警コーナー。パトカー、白バイをはじめ、運転適性診断車、シートベルト効果体験車、信号機など、交通安全の啓発のためのさまざまなアイテムが展示されている。パトカー、白バイの前では、警察官の制服を着たちびっ子たちが記念撮影。シートベルト体験車では低速時に衝突したときの衝撃が意外に大きいことに、多くの体験者が驚いていた。



TOPICS 献血、骨髄バンクにご協力を



北ホール南側入り口付近に開設された日本赤十字社の献血、骨髄バンクコーナー。献血協力者は1日約200人と高水準だ。骨髄バンクの登録もさかんで、通常は千葉県全体で月に約100人のところ、1日あたり約50人にのぼっている。皆様もぜひご協力を。

献血、骨髄バンクコーナー

便利でお得な アフタヌーンチケット

午後にゆっくり出かけてクルマを見たい——こんなニーズに応えて、午後3時から割安で入場できるアフタヌーンチケット(大人1000円・子供500円)が平日のみ発売されている。今年は会場のほか、JR海浜幕張駅でも購入可能だ。



VIP来場 2005年10月29日(土)

エルサルバドル共和国 リカルド・バレデス O. 特命全權大使

今日のイベント(予定) 2005年10月30日(日)

- * **シンポジウム**
13:30~15:00 広がる福祉車両の可能性 (国際会議場2階・国際会議室)
 - * **トラフィック戦隊アンゼンジャーショー**
10:30~11:10
12:45~13:25
15:30~16:10 フェスティバルパーク (西休憩ゾーン)
 - * **トライアルデモンストレーション**
11:20~11:50
14:55~15:25 フェスティバルパーク (西休憩ゾーン)
 - * **YOSAKOI鳴子踊り**
12:00~12:30 フェスティバルパーク (西休憩ゾーン)
 - * **交通安全スペシャルトークショー**
13:35~14:20 フェスティバルパーク (西休憩ゾーン)
 - * **交通安全トークショー**
16:20~16:50 フェスティバルパーク (西休憩ゾーン)
 - * **クリーンエネルギー車同乗試乗会**
10:30~16:30 特設専用コース (幕張海浜公園内 メッセ周辺公道)
- ※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。



ON DEMAND PUBLISHER C-51N

The essentials of imaging

毎分51枚 高速・高画質フルカラー出力

必要な時に必要なだけ、さまざまなニーズに柔軟に対応。

このニュースは コニカミノルタ ON DEMAND PUBLISHER C-51Nで出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
ODI事業部
TEL 03-5205-7820
Email odi-info@bj.konicaminolta.jp
URL http://www.ebook-print.com

東京モーターショーニュースVol.11 2005年10月30日発行
発行所 社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館
TEL.03-5405-6119 FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com

10月29日の入場者数 **133,200人**
入場者数累計 **665,300人**

